

懇談テーマ1

近年、地震、台風、大雨等の大きな自然災害が頻繁に発生している。

各地区においても、避難所及び避難場所が指定されているが、きちんと把握していない人が多くみられる。いざ災害が起きた際に、直感的に動けるような仕組み（避難指定場所の付近の電柱に案内看板を設置する等）を作る必要があるのではないかと考える。

また、ハザードマップ等も含め、緊急時の行動をより適切に行えるように、市として周知方法についても検討願いたい。

【当日補足事項】

湯津上地区の住人はどこに避難場所があるかわからない人が多い。避難所の近くの電柱辺りに避難所・避難場所という看板を設置してくれれば、仮に出先の時にどこに避難場所があるか、帰宅困難中どこに避難場所があるかわからないという時に、そういった看板が立っていればスムーズに避難できると思います。

【回答】

指定避難所につきましては、基本的には地元の避難所の周りの方を対象として指定しているため、住民の方へは周知されている施設であると認識しております。

しかしながら、市外の方が来た際にわかりにくいということであれば、調査した上で対応したいと考えております。

現在、市では、小船渡自治会様では立ち上がっておりますが、各地区の自主防災組織あるいは地域防災組織を推奨しております。災害時において、市の対応を待っている間に身の危険がせまることもあります。

そのため、自助、共助の部分として、自主防災組織を立ち上げ、まずは地域で安全を確保することをお願いしたいと考えております。

市内の自主防災組織の結成率は、7月1日現在、大田原地区で73%、黒羽地区で92%、湯津上地区におきましては46%と低い状況でありますので、湯津上地区におきましても、自分の命は自分で守るということを基本として、防災意識を高めていただいて、ぜひ自主防災組織の立ち上げを検討していただきたいと思います。

その際は、危機管理課へ立ち上げのご相談をしていただければ、市で一緒に立ち上げを検討したいと思っております。

また、ハザードマップにつきましては、平成24年度に緑色の冊子のもの、平成30年度には大判の河川毎のハザードマップを作成し、各戸に配付させていただいておりますが、今般、土砂災害警戒区域や浸水想定区域など、変更点が生じてきているところがいくつも出てきているため、今年度新たにハザードマップを作成する予定となっております。

その際に避難所も掲載いたしますので、今年度末には配付できるかと思っておりますが、お近くの避難所を確認していただければと思います。

また、実際に災害が起きて指定避難所を開設した場合には、よいちメール、キキクル、バカン等(※1)のインターネットの情報や、防災無線で避難指示等の周知方法を取っておりますので、避難所等の確認をしていただいて、速やかに避難をお願いします。

※1 防災関係二次元コード一覧



よいちメール
(大田原市)



キクル(気象庁)
(土砂災害・浸水・洪水危険度分布)



バカン(VACAN)
(市内避難所案内)

懇談テーマ1【再質問】

笠間市は既に避難所・避難場所に看板がどの地区に行っても立っています。

万が一私が他所の地区に行き遭遇した場合、自宅にも戻れないという時に、そういった看板が近くに立っていれば目安となって自分の命も守れると思うのですが、先ほど総合政策部長さんが防災無線で避難勧告とおっしゃっていましたが、実は小船渡は防災無線が何を言っているのかわからないのです。声がするなという感じで。

よいちメールとかそういうのは入れていないので、避難勧告とかそういう時にどのような連絡をするのかわからないのですが。

【回答】

小船渡さんでは自主防災組織を立ち上げられていますので、そこで地域の方々を把握されているかと思しますので、例えば災害弱者と言われる方もいらっしゃると思いますので、組織の中で連絡体制をまず取っていただいたり、ぜひ、よいちメールに登録していただいて、よいちメールですぐに情報を流させていただくので、防災無線が聞こえないといった話もございしますが、防災無線が聞こえない場合は市役所の方に電話(※2)をかけていただければ防災無線で何を言っているかというのでも聞けるようになっておりますので、そういった形で、まず自主防災組織の中で災害が起きた時にどのような連絡手段をとってやっていけば良いのかということ、市からの情報も含めて検討いただけるとありがたいと思います。

※2 大田原市防災行政無線システム「電話による聞き直しサービス」

防災行政無線システムの屋外スピーカーから放送された内容を聞き直すことができる自動電話応答サービスです。

電話番号 0287-30-0055

[注意事項]・通話料は自己負担となります。

- ・最新の放送のみ再生されます。
- ・聞き直しができるのは放送後24時間以内の内容です。
- ・定時放送(正午のチャイム、午後3時の放送)は聞くことができません。

懇談テーマ1【再質問】

そういった看板というのは設置予定はないのですか。

【回答】

今のところ避難所・避難場所92箇所すべてに看板を設置するという計画はございませんが、その必要性については危機管理課と考えてみたいと思います。

また、他市の状況等も含めて、笠間市さんの方では全部ついているということなので、近隣の状況も含めて調査させていただきたいと思います。

懇談テーマ1【再質問】

笠間市では、たまに避難訓練をしているのですが、外出先で、あちこち行っている方もいるらしくて、広報というか案内が流れると近くの避難場所とか避難所に駆け込むような感じになっています。

実際、この湯津上地区の住民というのは、どこに避難所や避難場所があるか、大半の人はわからないと思います。私たちも大田原に出掛けた場合は、ここに避難所があるとかそういうのは注意して見っていますが、黒羽と湯津上の方はそういうものがほとんど無いので、できれば設置してもらいたいというのが現状です。

【回答】

市内にはいくつか避難場所として、331号線沿い等に西地区公民館、福祉センターの入口のところ等、5、6箇所看板が立っているところもありますが、湯津上の場合はほとんど学校と支所、環境改善センターなど12箇所が指定避難所になっているので、ほぼ皆さんも良くおわかりなのではないかと思っていますのですが、他の状況等を見て、学校が避難所であればそういったものがわかるような表示を周りでしているということであれば、それも確認させていただいて考えてみたいと思います。

懇談テーマ1【再質問】

ぜひ設置をお願いします。ちなみに全部はわからないと思います。小船渡でもどこに避難場所があるか、避難所があるかというのを把握している人は少ないです。

【回答】

自治会等の集まりがあった時にでも、自主防災組織の集まりでも結構ですが、その時に再度確認していただくというような形でやっていただくとありがたいと思います。

懇談テーマ2

地域防災スピーカーの位置を再検討願いたい。地域によっては聞こえない、聞こえにくい場所がある。

市として地域調査を行い、防災スピーカーの位置の変更や、防災スピーカーの追加、放送の内容の見直しも含め、地域の実態に合った適正な対応をお願いしたい。

【当日補足事項】

各地域に防災スピーカーを設置してあると思いますが、その内容が非常に聞こえにくい。また、聞こえる場所もありますが、私が住んでいる佐良土地区に関しては、ほとんど聞こえていないというのが現状です。

私どもが住んでいるところは、矢倉地区、小川の関場地区(那珂川町)の方の防災無線の方が良く聞こえます。

佐良土地区に設置してあるということですが、聞こえないところに加えて、ハザードマップ等に掲載されていないため、地域住民があそこに防災無線があるということをほとんど知らない状態だと思います。

ハザードマップの改定が近々年内中にあるのであれば、ハザードマップの中に防災無線の位置情報を記載していただいて、追加でハザードマップを作成していただければ非常

にありがたいなど。

その作成した内容を、各自治会の公民館等に貼り付けてくださいというのではなく、回覧等で全住民のところに配付していただけるような準備をしていただければありがたいなど。

そうすれば、市の方でもう一度防災無線の位置付けを検討していただいて、放送設備ですから晴天時の条件で取り付けていると思いますが、やはり防災ですから、必然的に雨風等が強い時や夜に防災無線の威力を発揮していただかないとまらない内容なのかなと思いますので、もう一度見直ししていただく内容があるのであれば、そのような悪条件の時のことを考えていただいて、再度調査をして設置場所の検討をしていただきたいと思います。

それでもどうしても聞こえにくい場合には防災無線の追加をしていただければありがたいと思います。

特に今回、佐良土地区にも大雨洪水注意報が出ましたが、それについてもほとんど聞こえていないのが現状です。

我々地区役員の電話等だけではなく、市の方からそういう内容で発令されましたという内容が地域住民に聞こえれば、地域住民の自覚が発生するのではないかと思います。

よいちメール等を市は推奨していますが、よいちメールの登録をしていない方も非常に多いと思います。市の方でもよいちメールの登録、登録と騒いでいますが、逆にある程度の年齢の方から言えば、よいちメールというものがどれほど重要なものか、又、どのように取得して良いのかという内容が非常にわからない点が現状ではないかと思います。

よいちメールだけに頼らないで、せっかく良い設備等が現地についているのであれば、そちらの見直しをもう一度やっていただいて改善していただければ非常にありがたいなど。それと、ハザードマップの活用ですね。

今、日中に聞こえてくるのは子供の登下校とかそのような内容の放送内容だけが非常に聞こえておりますが、もう一度放送内容に関しても見直ししていただきたいと思います。

登下校も重要なことですが、大雨とか台風等が発生した場合には、随時、時系列で放送していただければ、その川の付近、山の付近の方がそれなりの自覚を持って行動をとっていただけるのではないかと思いますので、もう一度その放送内容の見直し、時系列での放送の仕方も検討していただければありがたいと思います。

【回答】

まず悪条件の時に聞こえにくいので、防災無線の設置位置等の検討お願いしたいということ、防災行政無線情報のハザードマップ等への記載・活用もお願いしたいということ、放送内容の見直しという3点がございましたが、まず、防災スピーカーの位置の再検討について回答を用意しておりますので、その後、回答させていただきます。

防災スピーカーの位置の再検討についてお答えいたします。

令和3年度から防災行政無線システムの運用を行っております。運用を開始してから2年が経過しようとしておりますが、「うるさい。」「聞こえない。」等の意見を多数いただき、運用の難しさを痛感しているところであります。

音声聞こえにくい要因といたしましては、強風や雨等の気象条件や、住宅の遮音性が向上していること等により、場所によって原因も異なるようであります。

そのため、聞こえにくい場所につきましては、個別に現場に行って対応いたしますので、場所についてお示しいただければと思います。

また、0287-30-0055に電話していただくと、防災無線の聞き直しができますので、こちらをご利用いただければと思います。よいちメールでも防災無線で流れる情報と同じ内容が流れますので、よいちメールについては、ぜひ、登録をお願いしたいと考えております。

冒頭の3つのお話ですが、悪条件の時はほぼ聞こえないです。雨の音と風の音で聞こえないので、その時にはやはり防災無線とメールとの情報で補完し合いながら伝達できるようにしているので、インターネットの情報、メールの情報を活用していただければと思います。

例えば、スピーカーの位置等の微妙な調整については、聞こえないところがあれば担当者が現場に行って確認したいと思いますので、ぜひご連絡いただければと思います。

ハザードマップへの防災行政無線の情報の記載については考えておりますので、今年度中に調整したいと思います。

放送内容の見直しについて、1回流したきりではなくて、例えば時系列的に繰り返し流すということについては、危機管理課と放送の流し方について検討させていただきたいと思います。

懇談テーマ2【再質問】

先ほど防災無線が聞こえない場合に、市の電話の方にかけていただければ繰り返し聞こえますという話をさせていただきましたが、このような電話番号を各個人がわからないのが現状だと思います。

机上だけの内容で皆知っているだろうという考えは捨てていただいて、机上以外の考えを、非常時を考えていただいて、ハザードマップにもこのような内容を掲載していただければ、住民がそれを見て確認が取れるような形でやっていただければ、非常にありがたいと思います。

【回答】

こちらの情報についても掲載する予定です。

懇談テーマ3

平日にクリーンセンターへのゴミの持込みを一定の重さまで無料にすることは可能か。特に段ボールやカン・ビン等は指定日を過ぎると次の収集まで期間があき、曜日関係なくそれらのごみをごみステーションに置かれてしまうことがある。

また、人によっては仕事の都合で指定日に合わせられない場合もあるので検討願いたい。
[例]平日20kgまでなら無料にする等

【当日補足事項】

ダンボールはスーパー等に置くところがあったり、鉄物でしたら処分するところでお金をもらって処分ができますが、ビンや蛍光管等の特殊なものはどこでも引き取ってくれない。

大量なキロ数ではなくて、その辺に捨てられては困るような蛍光管・ビン等を仕事の関係上どうしても月曜日に出せないという家もあると思います。

一家庭で持って行ける量を20kgとか30kgとか、ある程度、数量を限定して受け入れる体制を、というのが今回のテーマで言いたかったことです。

【回答】

広域クリーンセンター大田原への直接搬入につきましては、ごみステーションに出せない粗大ごみや一時的な大量ごみの持ち込みに対して10キログラム150円の処理手数料をお支払いいただいているところでございます。

この処理手数料につきましては、那須地区広域行政事務組合広域クリーンセンター大田原の設置及び管理運営に関する条例により設定されており、一般家庭のほか事業所や許可業者による持ち込みなど、全て直接搬入されたごみに対して等しく課されている手数料であります。

仕事などの理由で決まった収集日にごみステーションにごみを出せない一般家庭からの直接搬入ごみを一定の重さまで無料とすることを検討願いたいとのご意見につきましては、無料とした場合、地域のごみステーション利用者を直接搬入者として誘導してしまうことも考えられますことから、ごみステーションの管理や運営を妨げることになりかねないこと、自治会加入者の脱退を助長させてしまう可能性もあること、また、手数料の設定については、施設を共同利用している那須町や那須地区広域行政事務組合との協議が必要なことから慎重な検討が必要であると考えます。

しかし最近では、地域にごみステーションが無かったり、利用できなかつたりといったケースで相談を受けることもあり、何らかの対応が必要であると考えております。

本市のごみに関する施策に関しましては、「一般廃棄物処理基本計画」により、実施されているところでありますが、2年後には、次期計画の策定を行うこととなります。ご提案のことにつきましては、今後、次期計画策定の際に検討してまいりたいと考えておりますのでご理解をいただきたいと思っております。

懇談テーマ3【再質問】

不法投棄等の現実的なところを考えると、段ボールはスーパーの置き場に山のようになっているということ自体が、皆さん買い物に行きながら日曜日でも何でも、ポイントが欲しくて行くのではなくて、処分したくて行くということだと思います。

そのような需要があつて、各スーパーの入り口のところにあのようなステーションがたくさんあつて、時間的に曜日に関係なく出せるというメリットがある訳ですけれども、市の方に日曜・祭日までそれを受け入れろとは言えませんが、蛍光管だとか電池だとか不法投棄をされては困るものが現実問題ある訳ですね。ビンとか。

あれを日曜日以外の普通の日に市の方で無料で引き取るとか、そのような制度があれば、その辺の河原に有害な電池だとか蛍光管だとか結構ありますから。

それを防ぐ一つになるのではないかと考えて発言しました。

【回答】

今回、用意してきました回答が一定量無料にできないかというところに視点を置いてしまったものですから、蛍光管とか電池といったところについてのところは今の回答の中には含まれていなかったかと思っております。

実は、ボタン電池とか、そういったものも今クリーンセンターの方では引き受けできなかつたりしている事実があります。あとは、電子タバコといったものも引き取れないというようなところがありまして、実は、そういった引き取れないようなものについても今後どうやって引き受けていくかというところを、実際にクリーンセンターとか那須町などと検討させていただいているところです。

まだ具体的にどのようにするということころまでは決められていませんが、今回いただいたご意見を参考にさせていただきながら、考えさせていただきたいと思っておりますので、ご理解いただければと思います。

懇談テーマ3【意見】

次期計画策定のときに盛り込んでいただけるということで、検討をお願いしたいと思います。

懇談テーマ4

大田原市の観光振興について

大田原市の魅力を内外にアピールするため、市内の観光写真コンテストを実施してはどうか。

市内の自然や名所、祭などをテーマにした作品を募集し、コンテスト入賞作品については観光PRに使用する(チラシ、広報紙、大田原市ホームページ、よいちメール、庁舎での展示等)。

近隣市町(那須塩原市・那須町・那珂川町・さくら市)では実施している。

※合併前の旧湯津上村ではコンテストを実施していた。

【当日補足事項】

大田原市の観光振興について、大田原市の魅力を内外にアピールするため、市内の観光写真コンテストを実施したらどうかと思ひましてテーマにあげました。

【回答】

写真コンテストにつきましては、屋台まつりや紫陽花まつりにおいて実施しており、その他に佐久山地区風物詩写真展などもそれぞれのまつり実行委員会等が実施しております。

また、本市のホームページ等に掲載する写真を募集し、「いいとこ撮り」と題して掲載したり、市内で活動する団体の撮影した写真等を、市役所本庁舎の市民ギャラリーに展示し、観光PRに活用しております。

今後におきましても、観光協会等と連携をしながら、本市の魅力を市内外にアピールする写真や動画等の素材の収集方法を検討するとともに、収集した素材を有効に活用するために、SNSなどでの情報発信方法等についても工夫してまいりたいと考えております。

懇談テーマ4【再質問】

写真コンテストで屋台まつり、紫陽花まつり、それから佐久山の風物詩写真展、これは私も承知しております。

それから市役所本庁舎の市民ギャラリーに展示して観光PRに活用しているというのも、私の写真もここに何度か展示させていただいております。

私が言っているのは、個別のコンテストではなくて、もう少し大きい捉え方のコンテストはできないのだろうかということです。

例えば、黒羽には雲巖寺、大雄寺、観光に適した良い写真が撮れる場所があります。

それから、田舎、原風景と言うと、亀久とか両郷地区とか、湯津上地区、その辺も原風景として観光写真になるのではないかと。

それからこの近くに大野放牧場がありますよね。そこも地域の写真を撮る人が、牛とかを撮ったりしています。

それと、那珂川、箒川という大きい川があって、そこも観光写真になるのではないかと。そう思ってテーマとして提出したのですが、その辺を込み込みにして回答が欲しいです。

【回答】

テーマを大きく、もっと観光名所・観光資源、それと地域の原風景ですか、それらをもっと幅を広げて、一つ一つのお祭りでなくということのご意見かと思いますが、確かに大田原市にはそのような名所、雲巖寺、大雄寺もございますので、写真コンテストということになりますと、募集云々という話になりますが、観光協会と連携をいたしながら、考えてまいりたいと思っております。

懇談テーマ5

現在、高齢者福祉対策として民生委員の活動と地域の見守り隊の活動があるが、同じ人が同じような活動を行っている割には、両者間の情報共有や連携が乏しく、縦割りの活動のような印象を受ける。

そういった事情もあり、活動している方々や、地域の高齢者から、行政に対する不満や、期待していないという声も上がっている。（敬老会のお祝い金などの減額など含む）

市の担当職員も現場での情報確認が必要であり、また活動についての実態把握や、組織間の連携・共有をより強固にしていくべきかと考える。

【当日補足事項】

私事ですが、自治会長になって2年目になります。1年目は本当に何をやって良いのかわからないで夢中でやってきて、何がどうつながっているのかということもわからなくなって、2年目になってやっと少しずつ色々なことに目を向けられるような立場になってきました。その中で、市の高齢者福祉対策についてお伺いしたいと思いました。

自治会長は見守り隊の地区隊長になります。充て職でしょうけど。それで佐良土地区の見守り対象者を実際に自分で歩いて活動してみました。たまたま今年、妻が民生委員になりまして、ひとりで行くのはちょっと不安だということで自治会長として同行しようということで、一緒に民生委員の活動も見てまいりました。その中で感じたことなのですが、民生委員の活動と見守り隊の活動の対象者がだいたい同じです。

中身を見ますと若干縛りは違っているみたいですが、やっていることは同じで、同じように色々な文章を見てみますと、あくまで地域で見守りましょうと。みんなで見守りましょう。自治体、それから民生委員、福祉委員で見守りましょうというのはいっしょに同じだと思うのですが、実際1年、去年やって、では、この自治会長をはじめ、民生委員、福祉委員、そのような方が集まって、ひとりの支援を受けている人に対しての情報交換をされたことがあったのかなど。

もしかすると、やるはずだったのがコロナの影響でやっていないのかもしれないですが、今年は、市としてはそのようなところをどう取り組んでいくのだろうということをお伺いしたくて出させていただきました。

【回答】

民生委員児童委員の皆様の中には、地域の見守り隊のメンバーとして活動していただいている方も多く、大変お世話になっております。

一人暮らしの高齢者など、見守りを必要とする方につきましては、本人に情報提供の有無を確認の上、承諾された方の情報を、民生委員児童委員や見守り隊員に提供しておりますので、その点では共通の認識であるものと思っております。

また、民生委員児童委員の皆様が把握している情報は、守秘義務の関係上、公表できない部分も多いかと思いますが、匿名にして情報を共有するなどの工夫もいただければと思います。

皆様が把握された方々の中で、公的な支援が必要な方につきましては随時、福祉課や高齢者幸福課、社会福祉協議会に連絡をしていただきまして、必要なサービスにつなげてまいりたいと考えております。

3年近くのコロナ禍にあって、会議が書面開催になったり、人数や時間の制限があったりと情報の共有に不足が生じたことも事実であり、ご不便をおかけいたしまして申し訳ございませんでした。

5月8日には、コロナが5類に移行しましたので、ご指摘のように現場や活動についての状況確認や、組織間の連携、共有を密にしていきたいと思いますので、今後もどうぞよろしくお願いいたします。

見守り隊につきましては、市から社会福祉協議会に委託している事業になっております。

また、民生委員につきましては、民生委員法に基づきまして厚生労働大臣より委嘱されている事業となっております。

懇談テーマ5【再質問】

お教えいただきたいのですが、見守り隊とか福祉委員については、「自治体としっかり協力してください。」という文章が出ているのですが、民生委員にはそのところがありません。関係機関と書いてあるのです。関係組織とか、少しわかり辛いです。わざと自治体から離しているように文書としては見えたのですが、どうなのでしょう。

【回答】

民生委員になられた時には、福祉課から民生委員にやっていただくお仕事の内容について、冊子をお渡ししてご説明の方をさせていただいているところでございます。

住民の立場に立って相談に応じて、必要な機関に連絡を取り次ぐというような大きな役割をお持ちになっていらっしゃいます。

そして、児童福祉法の定めによって、民生委員さんは児童委員さんを兼ねるということになっておりまして、児童委員さんは子供たちを見守って、それから子育ての不安、妊娠中の心配ごとの相談なども行うということで、そういったこととお話をさせていただいております。もしわかり辛いということであれば、後ほど詳しくご説明をさせていただきたいと思っておりますので、福祉課の方からお電話等で連絡をさせていただくようにいたしますので、どうぞよろしくお願いいたします。

懇談テーマ5【再質問】

民生委員と一緒に回ったときに、お年寄りの方で「昔は市役所の人 came。でも今は来なくなった。それで民生委員が来ている。」と、市役所に対して不満を持っている人もおりました。

もうひとつは、例の敬老会の話が良く出るのですが、「何で俺はもらえないんだ。」と言われる方がおります。ただ、その方は自治会に入っていないので、広報紙が回っていないのかなとは思っているのですが、ただ、回ってみて、そのような不安・不満を持っている人が間違いなくいることは確かなので、現場の民生委員とかそういうものだけに任せることなく、たまには市役所の職員の方も回って、現場の声を聞いたら良いのではないかと思います。

【回答】

敬老会の関係と言うと、お祝い金が75歳から80歳までに上がってしまったという関係でしょうか。

懇談テーマ5【再質問】

そうです。どんどん年齢が上がってきている。

75歳の人をもらえなくて、来年はもらえるだろうと思っていたらもらえない。またもらえないという繰り返しで、不満を持ったという話です。

【回答】

昨年も他の地区の市政懇談会で出まして、理由としては、高齢者が今増えており、一方で人口減少が起きているということで、敬老事業の事業費については、高齢者数に比例して年々増加しております。

令和元年度の敬老会の事業費のことでお話すると、市全体で2,862万9千円であったものが、令和7年度には約3,500万円、令和12年度には約4,000万円を超える試算ということになりまして、令和2年度から見直しを行っております。こちらにつきましては、近隣市町の状況なども確認しながら実施しているところでございます。

例えば那須塩原市とか栃木市なども80歳以上ということで、1人2,000円になっておりまして、他の市町に比べて低いということではなく、同じくらいということで、年齢も80歳以上の方に差し上げているということで、そういった状況も考えまして、大田原市でも財政的な面もございまして見直しを行いました。

これから高齢化により、介護サービスや生活支援サービスといったところにも経費がかかってきますが、こういった経費を削減することができないものですから、限られた予算の中で、事業によって優勢順位をつけると言いますか、そういったことで実施したということでご理解をいただけたらと思っております。

懇談テーマ5【意見】

大田原市は段階的引き上げというような言葉を使って、今年は何歳の方、来年になると今年は何歳の方と引き上がっているのですが、これが市民の誤解を生んでいるような気がしてなりません。どうせなら、「何年生まれ以降の方は80歳から敬老会のご招待になりますよ。」という表現が、一番誤解がないのかなと常々感じております。

懇談テーマ6

小学校統合後の空き校舎の利活用について

令和6年度より湯津上地区の3小学校が統合される予定だが、統合後は蛭田小学校、佐良土小学校が空き校舎になる。統合後の空き校舎や校庭の利活用について、市として方向性が定まっているのであればお伺いしたい。

【当日補足事項】

令和6年度、来年度より湯津上地区の3小学校が統合ということになりまして、佐良土

小学校と蛭田小学校は廃校という扱いになります。

それらについて、廃校後の校舎や校庭の利活用、管理等について、市の方で方向性が決まっていればこの場で聞きたいと思って提案しました。

【回答】

3小学校統合後の空き校舎の利活用につきましては、現時点では未定でございますが、有効活用が図られるよう、「大田原市有財産活用民間提案制度」により積極的な提案を募集する方向で考えております。

校庭につきましては、市内に在住、在勤もしくは在学する方々の生涯スポーツ活動の場となるよう、「学校跡地運動場」として利用いただく方向で考えております。

懇談テーマ6【再質問】

情報としまして、既に大田原地区内でも統合になり、廃校になっているところがありますが、それらの今の利活用の現状について、参考までにお聞きできればと思います。

【回答】

活用状況でございますが、まず旧片田小学校の方に2021年の11月から民間の会社が入っております。

それから、旧佐久山中学校につきましては、これも2021年の8月、それから同じく2021年の10月から福祉関連の団体、それから民間の事業者が入っております。

その他、旧福原小学校につきましても、2021年の10月から民間の会社の方にご利用いただいております。

懇談テーマ6【意見】

各小学校とも利用が促進されているようですので、佐良土、蛭田小学校についても引き続き再利用されるよう願っております。よろしくをお願いします。

懇談テーマ7

牧場付近の道路（狭原石田線・狭原3号線）について

狭原（根本）地区は牧場の出入口になっている。

週末や連休の時などは県外からも多くの自動車が通行するようになり、現在の交通量と幅員等が釣り合っていないように感じる。

そこで、以下について回答いただきたい。

①狭原石田線の大河内、入山までの工事区間は現在どうなっているのか。

②狭原3号線の道路改良工事の予定はあるか。

（可能な限り早期に工事をお願いしたい）

【当日補足事項】

観光客が今度の連休あたりはかなり来ます。入り口はゴルフ場の方で、出口が狭原の根本地区。その入り口から入って一方通行で出口に出てきて、帰る車が出てくると入山の方

は砂利道でほぼ行かないのですが、みんな根本を抜けて国道へ抜けるか、金丸の方へ抜けるのです。

根本の方の道は狭い。地元の方は交差点があるから、そこで避けてすれ違いはできるのですが、牧場から出てきた人は避けてくれない。自分勝手に入って来る。

簡単に言うと、拡幅して欲しいのと、根本から入山へ抜ける、今、工事は全然やってないのですが、それが計画上どうなっているのか、それを教えて欲しいのです。

お金のかかることなので、すぐやってくれとは言わないので。計画があればそれを教えて欲しいです。

【回答】

市道狭原石田線の道路改良事業につきましては、市道南金丸狭原線から市道鹿畑小船渡線までの2.1 Kmの区間を平成24年度から事業開始いたしました。そのうち市道南金丸狭原線から市道狭原12号線までの狭原工区1.1 Km区間につきましては平成29年度に工事完了し、供用開始しております。

残りの市道狭原12号線から市道鹿畑小船渡線までの湯津上工区1.0 Kmにつきましても全線改良を目指し事業を進めているところであります。

現在は、用地取得が完了した箇所に土盛りをしたため、車両の通行が可能な状態となっておりますが、通行の支障となっている電柱の移設を東京電力に申請しているところでございます。

今年度以降につきましても順次電柱の移設を優先に、実施していく予定であります。併せて未買収区間の解消にも努めてまいりたいと考えております。

次に、市道狭原3号線の道路改良工事の予定についてお答えいたします。

根本地区周辺の、市道旧東野鉄道線から市道狭原石田線までの区間は、生活道路として幅員が3.5 mから5.0 mで整備されており、現在、市道狭原3号線の再整備の計画はございません。しかしながら、牧場のオープンに伴い、週末等に多くの車両が根本地区を通行することで、生活道路としての危険性が增大してしまう懸念がございます。

地域の生活道路の安全な通行を確保するために、速度規制などのソフト対策も必要であると考えられますが、まずは、施設への案内看板設置やホームページによりアクセス道路の案内を、主要道路にさせていただくなど、牧場と協議を行ってまいりたいと考えております。

今のお話ですと、出口の方が問題だということがわかりましたので。

現地の方は私も含め担当者数名で確認してございます。一方通行で出て、左の方に行つて欲しいということになりますか。

(自治会長回答：出口を出ると入山の方。そちらは狭いから、みんな左に曲がってくる。)

その辺も今わかりましたので、まずは牧場さんの方に案内看板等の設置が可能かどうか、こっちの方に行つた方が広い道というか、帰り道ですよということが出来るかどうか、協議に行つてまいりたいと思います。

また、現在、牧場の方の出入り口については、グーグルマップというもので表示になってございまして、どこに行つたら良いという表示がないので、ホームページの方に帰りの際はこの道を使うと便利ですよとか、そういったことも検討いただけるかどうかも含めて、お話の方をさせていただきたいと思っております。

懇談テーマ7【再質問】

カーナビで来ると出口を案内されるのです。そこは、昔の別の牧場の入り口だった。一番最初に開発したところ。案内されると多分そこへ来るのです。

連休などは、そこに張り紙をして、入り口は向こうだよというのは出してくれるので。

最初から多分、入り口がわからないのです。上に畑があって仕事をしていると、たまに「入り口はどこだい」と聞かれます。「あと200～300m行くと牧場が見えるからそこを入りな」と教えるのですが、鹿畑の方から入る道はまだ広くて良いのです。

金丸から入る道、サンヤと呼んでいます、その道を行くと車はすれ違えない。牧場へ行くのには、サンヤを通らず、鹿畑の方から入ってくる人の方が多いのです。

入り口は広くて良いのですが、出口の方を何とかして欲しいです。

3年、5年でどうこうというのは多分無理だと思うので、計画をきちんと作ってもらって、何年か後にはこうなるよというのが知りたいです。

【回答】

差し当たっては牧場さんに協議をしていきたいと思いますが、それでも例えばゴールデンウィークであるとかシルバーウィークみたいなときに、非常に来場者・来客者の方がどうしても言うことを聞いてくれないというか、そういったところがある可能性もありますので、全面的に拡幅するかどうかというのは別の話になってきますが、例えば一時的に避けられる部分を作るとか、そういうことが地元の方のご協力をいただければ検討していきたいと考えてございますが、今のところ少し大きな事業を抱えてございますので、そちらの方のある程度目鼻がついてから検討させていただくことになるかもしれないので、この場ではお約束はできかねますが、そのようなことも事例としてはございますので、検討させていただきたいと思います。

懇談テーマ7【意見】

今、ホテルを建設しています。すぐには言わないのでよろしくお願いします

懇談テーマ7【意見】

応急処置等も建設部の方でも考えているそうなので、そちらも早急に対応していただければありがたいと思います。

懇談テーマ8

平成30年の市政懇談会において、懇談テーマに上げていた「鹿畑・小船渡線(通称5号支線)」の整備について、狭原のロータリー交差点の整備が終わった後に着手していきたいとの回答をいただいているが、現時点での事業計画はどうなっているのか伺いたい。

【当日補足事項】

以前にも市政懇談会でこのテーマが出たと思いますが、鹿畑小船渡線、通称5号支線の整備がどうなっているのかということです。

ちなみに、何年か前に私が自治会長のときに、狭原のロータリーの交差点が終わり次第

着工するということを伺ったのですが、未だに着工に至っていない。

この道路は子供たちの通学路の一部にも入っているのです。近年、牛関係の大型機械や梨の選果場が中間にあるので、大型車が結構通るので、子供たちも危ないということですね。これについてお聞かせ願います。

【回答】

市道鹿畑小船渡線は、鹿畑地区と小船渡地区を結ぶ延長約3.8kmの幹線道路であり、近年、大型車両の交通量が増加している箇所だと認識しております。

現時点での拡幅計画はありませんが、路面のひび割れや轍(わだち)が酷く、路面状況が悪い箇所もあることから、来年度に舗装構造調査を行い、早期に舗装修繕工事を行ってまいりたいと考えております。

市道整備につきましては、市内全域、各自治会等からの要望も多く、国からの交付金事業により幹線道路や通学路整備を行っているほか、市の単独費でも整備を行い、早期に改修整備を完了させるよう努力しているところであります。

まずは、改修に着手している路線の早期完了を目指したいと考えておりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。

懇談テーマ8【意見】

なるべく早く、そして幅広くとってもらいたいですね。実際、中学生の女の子が泣いて帰るのもかわいそうだし。